

定期考査・評価について

- 1 考査と評価

定期考査は、生徒の日頃の学習の状況を評価する重要な機会である。基礎的・基本的知識を問う問題や思考力・判断力を問う問題など問題のパターンや難易度を変えて作成する。また、定期考査は、教師が授業を反省する機会でもある。定期考査の結果を分析し、その後の授業に役立てたい。

1 定期考査の目的

- (1) 生徒の学力を測り、生徒一人一人の学習の改善に役立てる。
- (2) 教師の指導の在り方を振り返り、指導計画の改善に役立てる。

2 定期考査作成上の方針及び留意点

- (1) 考査範囲全体を見渡し、指導目標（評価の4観点）のどの部分を出題するか検討する。また、作成した後も、考査問題が全体として指導目標の達成度を測定する問題としてふさわしいかどうか点検する（知識・理解に偏っていないか点検し、考査としての信頼性を高める）。
- (2) 考査範囲全体から偏りなく出題し、平均点が60点くらいになるようにする。
- (3) 誰もが解ける平易な問題から応用問題まで、さまざまな難易度の問題を出題する。
- (4) 出題形式も、客観問題（正誤・訂正・多肢選択・穴埋め・組み合わせ・一問一答・完成）だけでなく、文章記述・論述問題や図示・描画させたりする問題など多様な形式とする。
- (5) 単純再認問題（覚えているだけで解ける問題）だけではなく、資料活用能力や思考力・判断力を測ることのできる問題（覚えているだけでは解けない問題）も出題する。
- (6) 問題数は、出題形式にもよるが50問から80問程度で、生徒が解答を見直す時間も確保する。
- (7) 採点時の客観性を確保する。考査作成時に模範解答や採点基準を作成しておく。

3 評価から評定へ

評定に当たっては、ペーパーテスト等による知識や技能のみの評価など一部の観点に偏した評定が行われることのないように、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点による評価を十分踏まえながら評定を行っていく。（「指導要録の改善等について」文部科学省通知）

以下のような評価場面の記録を基に評定に総括する。評定を出すための基礎資料、方針・手順等は事前に校内で了解を得ておき、保護者・生徒に予告しておく。

- (1) 定期考査・実力考査...「4観点」を踏まえた出題を工夫し、総合的に評価できるようにする。
- (2) 小テスト...単元の区切りで実施する。「知識・理解」の評価として有効である。
- (3) 確認課題、発展的レポート課題...連休中・長期休業中・定期考査前等に、学習内容の定着のための課題を課したり、発展的なレポート課題を課す。前者では「知識・理解」を、後者では「関心・意欲」「思考・判断」「表現」等の学力を評価することができる。
- (4) ノート点検、授業プリント点検...記入のミスを指摘したり、学習のアドバイスなどを書き、「個に応じた指導」「個人内評価」を行う。
- (5) 授業中の発言、授業の取組態度の観察、授業中に作成した作品...良い質問や発言、学習内容に対する積極的な取組等を確実に記録しておき、評価資料とする。

参考 各観点を評価するのに適した資料

観点	方法	授業中の発言	ノート・プリント	小テスト	レポート	発表活動	定期考査
関心・意欲・態度							
思考・判断							論述問題
資料活用・表現							
知識・理解							

- 3 地理の考查問題例「時差について」

1 授業時の内容（例題）

『時刻表』（航空ダイヤ）を用いて時差の計算をさせる。 GMT：グリニッジ標準時

例題	<p>東京〔成田〕(NRT) からアトランタ (ATL) へ行く日本航空 20 便の所要時間 (かかる時間) が 12 時間 15 分であることを確認しましょう。</p> <p>まず、NRT と ATL の時差を計算します。</p> <p>ATL は航空ダイヤより、GMT との時差が - 4 であることがわかります。</p> <p>また、日本は全国共通で GMT との時差が + 9 です。</p> <p>よって、$9 - (-4) = 13 \dots\dots$</p> <p>となり、NRT と ATL の時差は 13 時間になります。</p> <p>次に、ATL に到着する時間を NRT の時間に直します。</p> <p>航空ダイヤより、ATL に到着する時間は 1115 です。</p> <p>これは ATL の現地時間ですので、NRT の時間に直します。</p> <p>それは、より、$1115 + 1300 = 2415 \dots\dots$</p> <p>となり、24 時 15 分になります。</p> <p>最後に、所要時間を計算します。</p> <p>航空ダイヤより、NRT を出発する時間は 1200 です。</p> <p>ATL に到着する時間から、NRT を出発する時間を引けば出ます。</p> <p>よって、より、$2415 - 1200 = 1215 \dots\dots$</p> <p>となり、12 時間 15 分になります。</p>
----	--

2 例題を参考にして、類題を考えさせる（応用問題）

類題	東京〔成田〕(NRT) からロサンゼルス (LAX) へ行くユナイテッド航空 890 便の所要時間 (かかる時間) が 9 : 55 であることを確認しましょう。
応用	東京〔成田〕(NRT) からホノルル (HNL) へ行くノースウエスト航空 80 便のホノルルへの到着時間が 655 であることを確認しましょう。

3 考查問題の実例

問題	下表は、ある年の夏に名古屋を発着する航空ダイヤ（国際線）の抜粋である。空欄に適切な数字を答えなさい。ただし、* は翌日を、 はサマータイムを示している。				
NAGOYA (NGO) PORTLAND (PDX)				GMT - 7	
NGO	PDX	所要時間	PDX	NGO	所要時間
1730	1035	(1)	1320	* (2)	10:20
NAGOYA (NGO) HONOLULU (HNL)				GMT (3)	
NGO	HNL	所要時間	HNL	NGO	所要時間
1930	750	7:20	1410	*1730	(4)
NAGOYA (NGO) SAO PAULO (GRU)				GMT - 3	
NGO	GRU	所要時間	GRU	NGO	所要時間
(5)	*4:20	23:20	(6)	*1500	25:50
NAGOYA (NGO) AMSTERDAM (AMS)				GMT + 2	
NGO	AMS	所要時間	AMS	NGO	所要時間
1050	* (7)	14:05	1235	* 859	(8)
NAGOYA (NGO) LONDON (LHR)				GMT (9)	
NGO	LHR	所要時間	LHR	NGO	所要時間
1000	1430	12:30	2030	* (10)	11:50

地理の学習では、地誌学習においても、数学における「例題と練習問題の関係」を適用することが期待されている。例題に当たる事例地域を学んだ後、練習問題に当たる類似地域で「見方や考え方」や「地理的技能」が使えるかどうかを試すのである。

- 4 現代社会の考查問題例

1 【関心・意欲・態度】を評価する問題例

下表を見て、文の(1)から(3)に適当な数字を入れなさい。(小数点以下第1位を四捨五入する)				
	ゴミ発生量	ゴミ焼却量	焼却場数	日本のゴミ焼却場数は、アメリカの(1)倍である。また、ゴミ発生量に対する焼却量の割合も(2)%に上り、アメリカの(3)%に比べて高い。
日本	5030	3800	1854	
アメリカ	20700	3290	148	

【出題の意図】ゴミ問題を考える導入として、簡単な数値を問う問題とした。生徒が資料を見て、問題に向かおうとする意欲を評価することができる。

2 【思考・判断】を評価する問題例

<p>次の文章を読んで、問に答えなさい。</p> <p>「アマゾンの破壊が地球温暖化や異常気象の原因であるなど、神話と誤解が世界に流布している。アマゾン秘境ではなく生活者の場だ。そこに住む我々はサルではない。森林を焼いた土地で穀物を育てたり牧畜をする。工場誘致で雇用を確保する。そのために熱帯雨林の一部が消えても非難できないだろう。「アマゾンを救え」といった運動は余計なお節介だ。...人間中心主義でいくのは当然だ。「開発の権利」は我々の側にある。先進国は環境を犠牲にして経済発展を遂げてきた。発展途上にある国々の経済成長の権利を制限しようとするのは、理にかなわない。」</p> <p>問1 この文章に適当な見出しを付けなさい。</p> <p>問2 この文章を踏まえて、環境問題をとらえるときに、必要となる視点は何かを説明しなさい。</p>
--

【出題の意図】見出しを付けさせることで、文章の内容を適切に把握しているか評価できる。また、先進国の立場だけでなく、途上国の立場を踏まえることで、環境問題を多角的に考えることができる。

3 【資料活用 of 技能・表現】を評価する問題例

<p>次の2つの図から、リサイクルが抱える問題点を説明しなさい。</p>

【出題の意図】リサイクルをする上で考慮すべき点があるということを示す2つの図を用いて説明し、リサイクルが環境問題解決の方法として「ベストではなくベターな選択」であるということが理解できるかどうかを評価する。


4 【知識・理解】を評価する問題例

<p>1992年の「環境と開発に関する国連会議(地球サミット)」でうたわれた「持続可能な開発」とはどのような考え方を、次の語句を用いて説明しなさい。解答の際、使用語句に下線を引くこと。</p> <p>使用する語句 : 自然 ・ 開発 ・ 人間</p>

【出題の意図】「次世代の人間が得るはずの経済・社会的な利益を損なわずに、現在の世代が環境を利用するという姿勢」を意味することが理解できているかを試す。

- 5 倫理・政経の考查問題例

1 【関心・意欲】を評価する問題例《倫理》



問1 左の作品のタイトルと作者を答えよ。

問2 イエスの死と関係ないものを次の中から記号で1つ選べ。

ア ユダヤ教の律法主義

イ 救世主としての自覚

ウ 人生の苦悩、出家

エ 十字架上の処刑

【出題意図】ミケランジェロ作『ピエタ』は、キリスト教の単元で、導入として生徒に鑑賞させる場合が多い。また、イエスの死はキリスト教成立の核心となるべきもので、この出題をもって生徒の関心・意欲を評価することができる。

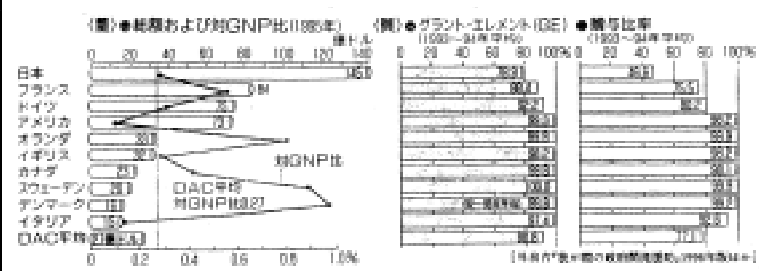
2 【思考・判断】を評価する問題例《倫理》

問 カントのいう「自律」とはどのようなことか。自分の経験を踏まえて、その具体的内容を80字以内で説明しなさい。なお、次の語句を使用すること。

意思の自由 他律 道徳律 (*解答の際、使用語句に下線を引くこと)

【出題意図】カントの「自律」について、単なる知識を解答させるのではなく「自分の経験をふまえて」主体的に思考・判断させる。また、採点の際の客観性を保つために、使用語句を指定した。

3 【資料活用の技能】を評価する問題例《政治・経済》



問 左の表から日本のODAの特徴及び問題点を箇条書きで記述しなさい。

【出題意図】日本のODAの特徴および問題点を挙げるためには、表中のデータを正確に読み取らなければならない。また、この問題ではODAに関する思考・判断力も問われる。

4 【知識・理解】を評価する問題例《政治・経済》

問 独占形態にはカルテル、トラスト、コンツェルンの3種類がある。この3種類の型を図示せよ。なお、次の用語を必要な場所に書き込みなさい。

合併 協定 資本

【出題意図】単に用語を暗記すればよいのではなく、独占形態について、正確な知識に基づいて理解を深めていなければ図示できない。

- 6 論述考査問題（世界史を例に）

1 考査で論述問題を出題するねらい

- (1) 知識・理解の確認【知識・理解】 既習事項の中で、ある事象を説明させたり、時代のとらえ方、歴史的意義などの歴史的な基本的理解を確認する。
- (2) 歴史的思考力の評価【思考・判断】 授業で直接には教授されていない事柄や資料を基にして、それらから読み取ることを推察する。
- (3) 文章表現力の評価【資料活用の技能・表現】 資料を分析し、既知のことと関連させ、文章で表現する能力を育成する。
- (4) 生徒の学習意欲を喚起【関心・意欲・態度】 学習の結果や体験に基づき、自分なりの評価、価値観が表現できる。また、粘り強く取り組みれば一定の評価がなされ、点が得られる。

2 出題内容による分類

- (1) 事項の説明・概括 「説明せよ」「まとめよ」「特徴を述べよ」
- (2) 過程・変化・比較・関連 「過程・変化を述べよ」「比較せよ」「関連を述べよ」
- (3) 因果・意義 「背景（影響）を述べよ」「意義を述べよ」

3 出題形式による分類

- (1) 指定語句を使う 指定語句を用いることは、書くべき内容や方向性を限定することになり、生徒にはヒントになるとともに、採点もしやすくなる。「論述の自由性」の歯止めとなる。
- (2) 資料を使う 史料・統計・図などから読み取り、推察力をも試すものである。

4 資料を使った論述問題の出題例

2つの立場の違う史料を読ませ、その違いを把握させるとともに、現代世界に対する自身の世界観を記述させる。

<p>【資料A】「彼ら（十字軍兵士）は私の所に、足に出来物ができた一人の騎士を連れてきたのです。それで私が足に湿布をしましたところ、出来物の口が開いて治りました。...すると、フランク人の医者がやってきて、『私の所に屈強な騎士を一人と、よく切れる斧を持って来なされ』と申しつけ、...騎士の足を大きな木の板の上に置いてその屈強な騎士に『一撃の下に斧で足を切り落とせ』と命じたのです。」</p> <p>出典：シリア在住のムスリムの見た十字軍の「回想録」</p>	<p>【資料B】（ファノール）「私は、貴殿のその変わらぬ情熱を深く慕って参りました。...メッカのマホメットごときは、貴殿の目にはただの得体の知れない改革者、卑劣な暴徒としか映らなかったでしょう。だが、今や君主に成り上がり、戦いに勝ちをおさめ、支配者になったのでございます。あの男は30もの国々で、今我らが呪う邪教そのものを、まんまと崇拜させたのでございます。」</p> <p>出典：ヴォルテールの戯曲「マホメット」 1741年初演</p>
---	--

【史料A】を読み、問いに答えなさい。

問1 当時、ヨーロッパとイスラムではどちらの医学が進んでいたのか。【資料活用】

問2 著者はイスラム世界と比較して、ヨーロッパをどのような社会だと考えていただろうか。【知識・理解】

問3 この資料に題をつけてみよう。【思考・判断】

【史料B】を読み、問に答えなさい。

問4 マホメットをどのような人間だと見ているのか。【資料活用】

問5 この資料に題をつけてみよう。【思考・判断】

問6 現在、ヨーロッパ・アメリカはイスラム世界をどのような社会だとみているだろうか、あなたの考えを述べよ。【知識・理解】

- 7 考查問題作成のための参考資料

1 歴史考查問題はどうか分類されるか（1つの考え方として）

（伊藤亮三他「社会科（歴史）テストの教授学的研究」（昭和60年）日本社会科教育学会発表資料、による）

(1) 歴史理解の構造における「知識の構造」

時代解釈	ある時代についての解釈を含んだ全体的な説明 例：「商業資本の隆盛を背景にルネサンスは登場するが、社会変革力を持たず、商業革命により衰退し歴史的使命を終える。」
事象解釈	いくつかの事象を概括的に解釈することによって形成された説明 例：「15世紀北イタリアには、人間性の解放を描写した文化人が輩出した。」
事象記述	事象についての解釈を含まない記述 例：「16世紀初頭、フィレンツェのマキャベリは『君主論』を著した。」
事象の構成要素	事象を構成する人物名、地名、事件名、年代など

(2) どの次元で問い、どの次元で答えさせるか

問いの次元	答えの次元	問 題 の 例
事象記述	事象要素	マキャベリが『君主論』を著した地はどこか。
	事象解釈	15世紀フィレンツェでは、多数の文化人が輩出し、新しい文化を創造した。この歴史的要因を述べよ。
	時代解釈	15世紀多数の文化人が輩出したイタリアの都市は、16世紀になると新しい文化人を生み出さなくなる。この理由を当時のヨーロッパ経済の変動から説明せよ。
事象解釈	事象要素	マキャベリが『君主論』を著したのは、彼の都市が外国の侵攻を受け、危機的状況に瀕した状況に対応するためであった。この地はどこか。
	事象解釈	16～17世紀ヨーロッパの国王は、その権勢を示す意味もあって多くの文化人を宮廷に招いた。このときの情勢と、15世紀フィレンツェのメディチ家の場合を比較し、共通性と相違点を述べよ。
	時代解釈	ポルトガルによる新航路の開拓は、イタリア=ルネサンス衰退の大きな要因であるといわれる。この理由を当時のヨーロッパ経済の変動から説明せよ。
時代解釈	事象要素	マキャベリが『君主論』を著したのは、イタリア=ルネサンス末期でイタリア都市の東方貿易独占が崩れた時代である。著した地はどこか。
	事象解釈	イタリアルネサンスは、16世紀に入ると、新航路の開拓で繁栄の中心が大西洋に移行したことにより衰退した。このことから、なぜ15世紀にイタリア=ルネサンスが開花したのかを経済的側面から説明しなさい。
	時代解釈	ローマ末期、古代の文化が衰退した時は同時にヨーロッパの経済が自然経済へ移行する時代であった。しかし、イタリア=ルネサンスの衰退は、貨幣経済がますます浸透していく時代での衰退である。なぜこのような違いがあるのか説明せよ。

(3) どの形式で問い、どの形式で答えさせるか

問いの形式	答えの形式	問 題 の 例
文脈のあるもの	文脈あり	15世紀フィレンツェでは、多数の文化人が輩出し、新しい文化を創造した。この歴史的要因を述べよ。
	文脈なし	16世紀初頭、マキャベリが『君主論』を著したのは、どこか。
文脈のないもの	文脈あり	次の用語について説明せよ。「商業革命」
	文脈なし	次のうち、関係のあるものを結べ。 「マキャベリ、ミケランジェロ、ボッティチェリ、春、君主論、ピエタ像」

2 評価方法の分類（橋本重治『教育評価法概説』図書文化、平成15年などによる）

ペーパーテスト	客観テスト...【知識・理解】を評価するのに適する。		
	再生形式	単純再生法	単純な学習内容を再生して答える。
		完成法	文や図中の何カ所かを空欄にして、用語・数字等を記入する。
		訂正法	誤った箇所を含む文等を提示して正しく訂正させる。
		序列法	大小順、年代順に並ばせる。
	再認形式	正誤法	概念・命題等の正誤を判断させる。「×テスト」
		多肢選択法	1つの問題について、4～5の選択肢から正当を選ぶ。
		組み合わせ法	二系列の事項間で互いに関係するものを組み合わせる。
		選択完成法	多肢選択型と完成法の併用型。
	論文体テスト...【知識・理解】【思考・判断】【態度】を評価するのに適する。		
問題場面テスト...新しい問題場面を示して、解決させる。総合的に学力を評価できる。			
自己評価法...評価項目に合う質問事項を設け、記入する。 (質問紙法)【関心・意欲・判断】を評価するのに適する。			
作品法...レポート、ワークシート、ノートなど。 【関心・意欲・態度】【表現・技能】を含む学力を総合的に評価できる。			
観察法...日常の発言・行動を評価。【関心・意欲・態度】を評価するのに適する。			

3 ブルームによる質問の分類（辰野千壽『学習評価基本ハンドブック』平成13年、などによる）

分類	認知の機能	質 問 の 例
知識	学習した通り情報を再生し再認する。	収束的 質 問
理解	知識を組み替えたり、説明する。	
応用	問題解決のために原理・公式を応用する。	
分析	いくつかの知識により推論する。理由を見分ける。	
創造	独創的な作品を作り出す。	
評価	判断し、評価する。意見を述べ鑑賞する。	
		「～の首都はどこか。」*基礎的知識問題に適する。
		「自分の言葉で説明せよ。」「～と～とを比較せよ。」
		「～を解決するためには、どの規則を適用すればいいのか。」
		「首都にワシントンはなぜ選ばれたか。」 *正答は複数。合理的説明や証拠を求める。
		「これに対する最も良い名前は何か。」「もし、ケネディが暗殺されなかったらどうなっていたらだろうか。」 *創造性、多様性を求める。
		「あなたはどの作品を好むか。」「あなたはなぜその政策を支持するのか。」

4 梶田正巳による学力の分類について（梶田正巳『勉強力をみがく』平成15年、による）

他問自答の学力	見て分かる力		「どれが正しいか。」多肢選択のテスト	【マーク式】
	生み出す力	答えを思い出す力	「～は何であるか。」 覚えている知識からふさわしい答えを素早く見つける。	【記述式】
		答えを作り出す力	「～と～の関係を示せ。」「～はなぜ起きたのか説明せよ。」 知識を使い、創造する力。論理構成能力	【論述式】
自問自答の学力（問いを立てる力）			課題追究学習。主題学習。「生きる力」	【論文式】